

特集：リサーチ・ナビ—調べものに役立つWebサービス— その2

## 人文科学分野の「しらべるヒント」

金井 ゆき  
澤井 優子

### 1. 人文科学のページ

#### 1. 1 人文科学トップページ

リサーチ・ナビの「人文科学」は、歴史、地理、哲学、宗教、芸術、文学、学術一般などに関する「調べ案内」を中心とした情報源へのナビゲートを目的として人文総合情報室が作成した。トップページは、キーワードで調べるための検索窓と、分野ごとのコンテンツ一覧により構成されている (図1)。

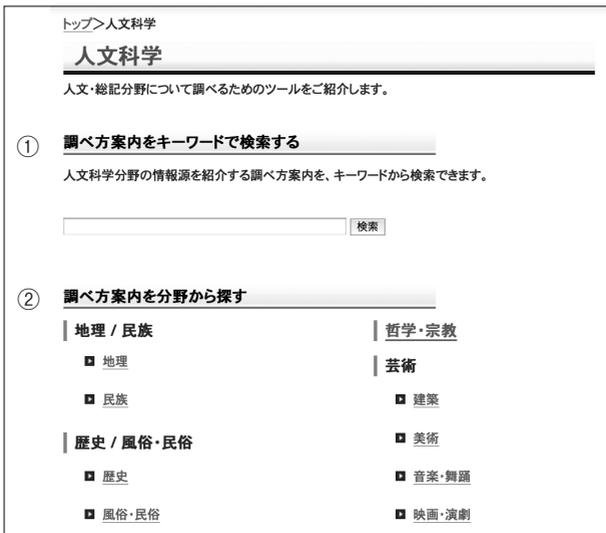


図1 「人文科学」トップページ  
(<http://rnavi.ndl.go.jp/humanities/>)

## ① 調べ案内をキーワードで検索する

検索窓に調べたい事柄に関するキーワードを入力すると、タイトルや本文に検索語を含む「調べ案内」(後述)を検索することができる。現時点ではand検索は利用できないため、複数のキーワードによる検索は画面上部のリサーチ・ナビ全体の検索窓を利用する。

## ② 調べ案内を分野から探す

リサーチ・ナビ「調べ案内」のトップページでは、人文科学分野のコンテンツのカテゴリが「歴史・地理・哲学・宗教」「芸術・言語・文学」「学術一般」の3種類のみとなっているが、「人文科学」のページでは以下の8分野に細かく分けられ、分野によってはさらに細分化された主題(下記括弧内)から目的の情報を探することができる。

- ・「地理／民族」
- ・「歴史／風俗・民俗」
- ・「人物・人名・家系」(日本、外国)
- ・「哲学・宗教」
- ・「芸術」(建築、美術、音楽・舞踊、映画・演劇)
- ・「言語／文学」
- ・「学術一般」(ジャーナリズム、出版、図書館情報学、その他)
- ・「人文総合情報室のコレクション資料」

これらの見出しをクリックすると各分野のページに移動し、関連するコンテンツの一覧が表示される。例えば、「人物・人名・家系」の下の「日本」をクリックすると、「人物・人名・家系の調べ方」(日本)にたどりつく(図2)。

### 1. 2 各分野のページ構成

各分野のページには、以下のような情報が盛り込まれている(図2)。

#### ③関連する調べ案内の一覧

#### ④主な参考図書・ウェブサイトの紹介ページへのリンク

ここで紹介する調べ案内やリンク集は当室が作成したものだけではなく、アジア、古典籍、音楽・映像、児童書関係などのカテゴリに属するコンテンツで、人文科学分野に関するものも含まれている。

なお、図2で例としてあげた「人物・人名・家系の調べ方」のページでは、当室が作成を担当している「日本人名情報索引(人文分野)データベース」(図2の⑤、54ページ以降で後述)を紹介している。

トップ>人文科学>人物・人名・家系の調べ方

## 人物・人名・家系の調べ方

日本  
外国

**日本**

⑤  日本人名情報索引(人文分野)データベースの検索  
日本人の人名情報を掲載する資料を探せます。人物名から検索できる資料もあります。

③ **調べ案内**

- 著者の没年を調べるには
- 人物文献(伝記など)(日本)
- 肖像(日本人)
- 姓氏・家系
- 系図(系譜)集

④ **主な参考図書・ウェブサイト**

- 主な参考図書 人物
- 主な参考図書 歴史(時代別人名辞典)・(姓氏・家系・系図)

図2 各分野のページ（「人物・人名・家系の調べ方」）  
(<http://rnavi.ndl.go.jp/humanities/biography.php>)

## 2. 人文科学分野の調べ案内

当室作成の「調べ案内」は、平成22年1月現在で92件が提供されている。日々蓄積されるレファレンスの記録をもとに、以下のようなものを中心に月に2件程度が作成・更新されている。

- ・利用者からの問い合わせが多い事柄
- ・レファレンスツールが少なく、調査が難しいテーマ
- ・調査方法に工夫が必要なもの
- ・特殊な資料群など

取り上げるテーマは「日本史に関する文献を探すには」といった広く一般的なものから、「国立国会図書館所蔵の内務省交付本」のような個別具体的なものまで様々であるが、各「調べ案内」は概ね以下のような情報から構成されている。

- ・関連文献、データベース（外部データベースを含む）
- ・各種ツールの効果的な活用法

(例：特定テーマの文献を探すためのOPAC検索法など)

・類縁機関の紹介

これらにより、調査テーマに関する情報源、調べ方のノウハウを広く公開することを目指している。そのために当館の所蔵資料、データベース等に限らず、外部機関の提供する有用な情報源へのリンクを広く行っており、文献を用いた調査方法の解説にとどまらず、ウェブ上である程度の調査を行うことが可能となっている。

現在ウェブ上には様々な情報が溢れ、信頼性の高い有益な情報にたどり着くのは必ずしも容易ではないが、「調べ案内」を利用することにより、必要な情報を効率的に得ることができる。

◇「主題書誌」シリーズ

人文科学分野では、各分野の「調べ案内」一覧の先頭に「〇〇に関する文献を探すには（主題書誌）」と題した一連の調べ案内（「主題書誌」シリーズ）を配置し、提供している。「調べ案内」の一覧や、キーワード検索で調べたい事柄に即したものが見つからない場合でも、この「主題書誌」シリーズから関連する分野の文献目録や、データベースの情報を得て、調査の手掛かりを掴むことができるようになっている。

現在提供しているのは総論（「主題書誌（関連文献リスト）を探すには」）、哲学・宗教、地理学、日本史、地方史、東洋史、西洋史、日本語学、日本文学、外国語・外国文学、芸術（美術・建築）、同（音楽・映画・演劇）、総記（ジャーナリズム、出版、図書館等）の13タイトルである。

### 3. 日本人名情報索引（人文分野）データベース

1. 2で触れた日本人名情報索引（人文分野）データベース（以下、「人名DB」という。<http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/>）は、当館所蔵の和図書・和雑誌から、日本人の人名情報（略歴等）を収録する人名辞典及びそれに類する資料を選び、書誌や収録内容のキーワードからの検索を可能としたデータベースである。一部の資料は収録人物名からの検索も可能で、平成22年1月8日現在、書誌約5,700件を採録し、そのうち約400件について、掲載されている人名の情報（延べ約6万2千人分）を収録している。

### 3. 1 人名情報に対するニーズ

当室に寄せられるレファレンス質問のうち、多いものの一つが人物調査である。複写のための没年調査や著作権継承者の調査、先祖探しなど、幅広い質問が寄せられる。

こうしたニーズを踏まえ、当館では冊子体の書誌類や、人物調査に関する「調べ案内」などを整備してきた。これらに加え、リサーチ・ナビのサービス開始に当たり、1990年に刊行した『日本人名情報索引 改訂増補版』<sup>1)</sup>の内容に、新たなデータを追加したデータベースを公開することとした。これが人名DBである。

### 3. 2 『日本人名情報索引 改訂増補版』の継承

『日本人名情報索引 改訂増補版』（以下、冊子版という。）は、専門的な人名辞典や人名録を探すためのツールとして使われてきた資料で、明治時代から平成元年までの当館受入資料のうち、基本的な人名辞典・人名録類とそれらを補完する資料約2,000点を、分類ごとに分けて解説したものである。全体は大きく3部に分かれ、一般人名資料として基本的な人名資料を、主題人名資料として各分野の人名資料を、地域人名資料として都道府県別の各種人名辞典並びにそれらを補完する主要な郷土史誌、分限帳等を採録している。人名辞典に限らず、本の一部に人名情報を含むものについても採録していることが特徴で、それぞれの資料については、収録対象者や人数、人名情報の収録箇所、収録史料名などについて解説している。

人名DBには、冊子版に収録されている資料のうち、一般人名資料、地域人名資料及び主題人名資料のうちの人文科学分野について、個人の事績に到達できる資料について採録した<sup>2)</sup>。採録した資料の解説文は、ほぼそのままの内容をデータベースに収録している。

### 3. 3 『日本人名情報索引 改訂増補版』以降のデータ採録

当室では、冊子版の成果を引き継ぐべく、平成16年度から、毎週の新着資料の内容を調査し、人名情報を含む資料についてその内容を記録し、データベース化の準備を行ってきた。冊子版刊行後、データベース準備作業開始までの約14年の空白期間については、NDLC分類のG分類（歴史・地理）と人文総合情報室の開架資料に限定して遡及調査を行い、採録作業を行った。その他の分類の遡及調査については今後の課題となっている。

### 3. 4 採録資料の範囲

冊子版刊行後の採録分については、「人名辞典に準ずる情報の得られる資料」という基本方針は踏まえつつ、採録基準を少々変更している。大まかな採録基準は次のとおりである。

- ・原則として、国立国会図書館分類表（NDLC）において次の分類に相当する資料に限る。
  - G 歴史・地理 H 哲学・宗教 K 芸術・言語・文学
  - U 学術一般・ジャーナリズム・図書館・書誌
- ・何らかの事績を残した個人についての基本情報（生没年、略歴など）が直接得られる資料。基本情報の記載がない場合、別名や受賞情報などの特定人物に関する何らかの情報が記載されているものであれば採録する。
- ・原則として10名以上の日本人の人名情報を収録する資料。
- ・逐次刊行物については、継続的に人名情報が収録されている年鑑類及び人名情報を収録した臨時増刊号などを中心に、同様の基準で採録する。

収録人数の基準を10名以上としたことで、冊子版よりも採録範囲は広がり、展覧会図録の巻末にある作者略歴なども採録している。採録資料には次のようなものがある。

- ・人名辞典、人名録、名鑑など
- ・県史、市町村史などの人物編
- ・作家略歴のある芸術作品集（文学作品集を除く）
- ・系図（人物の事績がわかるもののみ）、分限帳など

1冊のなかに数人の伝記を集めた資料などは採録対象外だが、それらは書誌情報の人名件名や内容細目、リサーチ・ナビの目次データベース等で検索可能であることから、人名DBの採録対象とはしていない。

### 3. 5 データベース化による検索性の向上

データベース化により、冊子版では検索できなかった解説文中の語句の検索や、分類のきめ細かい複出などの点で検索性が向上している。例えば、長野県の地域人名資料として分類されていた『高遠の古記録』に、高遠から山形、会津へと移封された保科家の会津時代の分限帳が収録されていることは、従来の冊子では気づきにくかった例だろう。これは解説文を検索対象と

したことで「会津」のキーワードで探せるようになった例である。

また、次に述べるように、データベース化にあたり、一部の資料についてはその資料に掲載されている人物名等からの検索も可能としている。

### 3. 6 被伝者情報の入力

一部の資料については、分類等に加え、その資料に掲載されている人物の名前や別名など（被伝者情報）を入力している。人物名から直接検索できることにより、分類や解説文だけでは収録内容がイメージしにくい資料にも到達可能となり、レファレンスの業務効率が向上することを意図している。

被伝者情報は、1冊に何万人分もの情報を収録する辞書類があることから、以下のような基準を設けてデータを順次入力している。

- ・1945年以前に活躍した人物を中心に収録する資料。ただし、一般人名辞典、人名録及び地域人名資料等に分類されている資料を除く<sup>3)</sup>。
- ・収録人数が約3,000人以下の資料。（システム上の制約による。）
- ・採録項目は、原則として日本人の個人名のみ。（帰化した人物を含む。）

本データベースは、一般的なツールでは見つけにくい人名情報を得ることを目的の一つとしているため、既に検索ツールの整備されている一般的な人名辞書類については、被伝者情報を入力していない。また、地方の人物に関しては、公共図書館等で詳細な人物書誌が作成されていることも多いことから、当館では資料の存在を紹介するにとどめ、被伝者情報は入力していない。地方の人物書誌については、調べ方案内「人物文献（伝記など）を探す」<sup>4)</sup>で紹介しているので、そちらも参照されたい。

データ入力作業は計画的に進めているが、被伝者情報の入力されている資料は、まだ人名DB全体の1割に満たない。入力にあたっては、他に検索手段のない資料や、タイトルからは人名情報源であることが想像しにくい資料を優先し、思いもかけない有用な資料が発見できるツールとなることを目指している。また、人名DBの詳細表示に被伝者情報がなくても、目次情報で収録人物を確認できる資料も多数あるので、ご活用いただきたい。

### 3. 7 検索について

検索方法は、大きく分けて2つある（図3）。

トップ>日本人名情報索引(人文分野)データベース

## 日本人名情報索引(人文分野)データベース

**お知らせ**

提供している書誌の件数が約5,700件になりました。そのうち約400件分の被伝者情報を公開しています。

**説明**

国立国会図書館所蔵の和図書・和雑誌から、日本人の人名情報(略歴等)を収録する人名辞典及びそれに類する資料を選び、書誌や収録内容のキーワードからの検索を可能としたデータベースです。一部の資料は収録人物名を検索できるようにしています。⇒[収録内容の詳細](#) ⇒[検索の手引き](#)

**人名でさがす ⑥**

人名(別名・号などを含む)で検索できます。姓名の間のスペースは不要です。⇒[検索方法](#)

**キーワードでさがす ⑦**

資料名、内容紹介文中のキーワードなどで、より広い範囲の資料を検索できます。⇒[検索方法](#)

**オプション**  
 ▼

\*検索に時間がかかる場合は、以下の絞込み条件を選択してください。  
 \*下の分類名のリンクをたどって一覧から探すこともできます。(リンクをクリックすると分類ごとの年代一覧に切り替わります。)⇒[分類の詳細](#)

以下の条件で絞り込む(複数選択不可。上のクリアボタンで解除できます。)

図3 日本人名情報索引(人文分野)データベース  
 (http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/)

・人名でさがす (図3の⑥)

人名を入力して検索し、ダイレクトにその人物が収録されている情報源を探ることができる。資料中に見出しとなっている人物名のほか、号や筆名、近世以前の官職名などの別名も検索対象である(図4。検索対象は「人物名」、「別名」として表示されている部分)。資料の記載のまま入力しているため、一人の人物でも資料によって別名の採録数や表記方法はまちまちである

<p>人物名:松平 定信            別名: 貞卿, 楽翁, 旭峯, 花月翁, 風月老人</p>
<p>人物名:水野 忠邦            別名: 式部少輔, 和泉守, 越前守, 松軒, 蘭園, 菊園</p>
<p>人物名:水野 忠央            別名: 鍵吉, 藤四郎, 丹鶴, 黄菊寿園, 鶴峯</p>

図4 「人名でさがす」から検索できる被伝者情報の例

が、別名から一般的な呼称を知る簡易なツールとしても使えるだろう。

「人名でさがす」での検索時には、画面での表示形にかかわらず、姓名をスペースなどで区切らず続けて入力する必要がある。名のみ、号のみでも検索可能だが、読みでの検索には対応していない。また、現在のところ新字・旧字は区別されるため、必要に応じて新字とともに旧字でも検索してみる必要がある。and検索についても今後のシステム改善課題となっているため、号などが複数ある場合でうまくヒットしないときは、号のみで検索するか、後述のようにリサーチ・ナビ全体の検索窓でのand検索を試していただきたい(図6)。

なお、3. 6で述べたように、人名から検索できる資料(被伝者情報を入力している資料)は現時点ではごく一部である。人名でうまくヒットしないときは、次に紹介する「キーワードでさがす」でその分野の情報源を探すとよい。

#### ・キーワードでさがす (図3の⑦)

「人名でさがす」よりも幅広く、資料名や内容紹介文中のキーワードなど(人名を含む<sup>5)</sup>)で検索し、求める人物が掲載されている可能性のある資料を探す方法である。フリーキーワードのほかに、検索窓の下にある、収録年代や分類を条件に加えて検索することができる<sup>6)</sup>。なお、分類についてはリンクをたどって一覧表示することも可能である。「人名でさがす」と同様、平成22年1月現在and検索には対応していないため、分類等とうまく組み合わせで検索していただきたい。

検索例：

- ・ 郡山藩の分限帳を探したい  
⇒キーワード：郡山藩      分類：武家
- ・ 明治・大正期の歌舞伎役者の名鑑を探したい (図5)  
⇒キーワード：歌舞伎      収録年代：近代

## キーワードでさがす

資料名、内容紹介文中のキーワードなどで、より広い範囲の資料を検索できます。⇒[検索方法](#)

歌舞伎

検索

クリア

オプション

指定なし

\*検索に時間がかかる場合は、以下の絞込み条件を選択してください。

\*下の分類名のリンクをたどって一覧から探すこともできます。(リンクをクリックすると分類ごとの年代一覧に切り替わります。)⇒[分類の詳細](#)

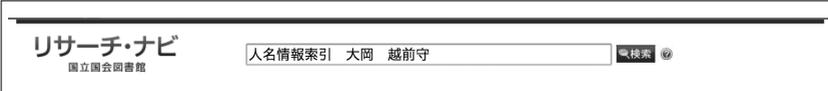
以下の条件で絞り込む (複数選択不可。上のクリアボタンで解除できます。)

収録年代

古代  中世  近世  幕末  近代  昭和前期  現代

図5 「キーワードでさがす」の検索例  
(<http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/>)

また、この画面での検索の他に、リサーチ・ナビ全体の検索窓で検索する方法がある。検索結果として表示される内容の単純なテキスト検索になるため、分類を指定しての検索などはできないが(分類名をキーワードとしての検索は可能)、現時点では人名DBの画面で検索するよりも検索速度が速く、複数条件でのand検索も可能になっているため、キーワードを工夫して入力すれば便利に使えるだろう。人名DBの内容に限定して検索したい場合は、「人名情報索引」と加えて検索するとよい。人名で検索する場合には、姓と名をスペースで区切って検索条件としたほうがヒット率は高くなる(図6)。



リサーチ・ナビ  
国立国会図書館

人名情報索引 大岡 越前守

検索

図6 リサーチ・ナビ全体の検索窓での入力例  
(<http://rnavi.ndl.go.jp/>)

## 4. 実際の活用例

ここからは、実際の調べ方案内を例に、その活用法を紹介していきたい。

### 例1：「グリーンスリーブス」のピアノ譜を探したい

調べ方案内「楽譜」（図7）の「曲名から検索する」を参考に、当館が提供するデータベースで検索してみる。

トップ>調べ方案内>芸術・言語・文学>楽譜

## 楽譜

更新日:2009年12月 3日

楽譜資料には、作品1曲毎に印刷・販売されている演奏用ピースと、複数の作品を収録する楽譜集があります。NDL-OPAC<sup>□</sup>で検索する際は「和図書」「洋図書」のチェックボックスにチェックを入れて下さい。なお、東京本館人文総合情報室で利用できる「蘆原英了コレクション」にも楽譜5200点が含まれます。こちらについては蘆原英了コレクションをご覧ください。

書誌事項の後の( )内は当館請求記号です。各専門資料室で開架している資料は、請求記号に続けて以下の略号で室名を付しています。

人文:東京本館人文総合情報室  
音楽:同音楽・映像資料室  
関西:関西館総合閲覧室

### 曲名から検索する

- 目次データベース  
楽譜集に収録されている曲名のほか、作曲家（著者）などで検索ができます。当館所蔵資料の目次を遡及を含めて随時入力中ですので、現在所蔵の楽譜集全てを検索できるわけではありません。
- NDL-OPAC<sup>□</sup>  
1曲1タイトルの演奏用ピースは、NDL-OPAC<sup>□</sup>でも曲名(タイトル欄)、作曲家名(著者・編者欄)で検索できます。楽譜集に収録の曲名では検索できません。

### 文献目録を使う

図7 調べ方案内「楽譜」

([http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-101079.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101079.php))

- ・NDL-OPAC

タイトルに曲名を入力して検索。この方法で検索できるのは楽譜ピースなど、書誌事項に曲名を含んでいるものに限られ、楽譜集に含まれている曲名からは検索できない。

→「グリーンズリーブス」でヒットしたものは、ギター譜、バイオリン譜のみであり、ピアノ譜は見当たらない。

- ・目次データベース

楽譜集に収録されている曲を検索できる。

→リサーチ・ナビ画面上部の検索窓に曲名を入力して検索すると、「本・サイト」タブの「内容情報からさがす」にヒットしたデータが表示される。タイトルに「ピアノ」とあるものを選んで目次を開き、内容を確認する。

## 例2：「あの娘を知っていたら」というシャンソンの楽譜を探している

例1と同様に、調べ方案内「楽譜」の情報をもとに検索する。

- ・NDL-OPACでは楽譜はヒットしない。

- ・目次データベースでは「蘆原英了コレクション目録：国立国会図書館所蔵 第3巻レコード編 第4分冊」の内容情報がヒットする。

→蘆原コレクションに含まれる曲目の「邦題標語一覧」により、原題が“Ah! si vous connaissiez ma poule”であることが判明。

蘆原コレクションについての詳細は「楽譜」本文からリンクされている、調べ方案内「蘆原コレクション」で確認できる。

- ・判明した原題から、再度NDL-OPACを検索。蘆原コレクションのチェックボックスにチェックを入れ、タイトル欄に原題を入力して検索する。

→蘆原コレクションに含まれる楽譜“Ah! si vous connaissiez ma poule”（当館請求記号：VA132-A-149）がヒットする。

リサーチ・ナビやNDL-OPACでの検索では見当たらなかった場合は、調べ方案内で紹介している音楽大学や博物館などの専門機関のOPACや、民間の楽譜販売サイトでも検索することができる。また、楽譜を多く所蔵する類縁機関のウェブサイトも紹介している。

このほかに楽譜の目録や楽譜集のNDL-OPACでの検索方法なども紹介しており、この調べ方案内を利用すれば、楽譜を検索する主要なツールを把握し、ある程度の調査を行うことができるようになっている。

### 例3：『源氏物語』がどのような言語に訳されているか調べたい

調べ方案内「日本文学の翻訳を調べる」(図8)で日本文学を外国語に翻訳した図書を調べる方法やツールを知ることができる。

なお、中国語・朝鮮語図書については検索方法が異なるため、本文冒頭で調べ方案内「中国語・朝鮮語図書の日本語訳、日本書の中国語・朝鮮語訳」を案内している。

#### 当館所蔵資料を調べるには

##### NDL-OPACによる検索

###### A.特定の作品をさがす

###### 【近代以降】

- 原著者名から  
漢字形を「著者・编者」欄に入力して検索します。→1986年以降に受け入れた資料がヒットします。  
ローマ字形を「著者・编者」欄に入力して検索します。→明治から現代までの文学作品がヒットします。  
原作品は検索結果から個別に書誌をみて判断します。  
例) "La chiave"(1964)  
「個人著者標目 \* Tanizaki, Junichiro, 1886-1965. . Kagi. Italian」→谷崎潤一郎「鍵」  
例) "Yoshino"(1998)  
「注記 Translation of: Yoshino kuzu, 吉野葛.」→谷崎潤一郎「吉野葛」

※ごくまれに姓(ローマ字形)のみでしかヒットしないデータがあります。  
※「書誌検索」画面ではなく「著者名検索」画面から検索すると一部しかヒットしません。

- 原タイトルから  
漢字ではヒットしません。ローマ字で検索すると「著者標目」中の統一タイトル(ローマ字)や書誌記述(タイトルなど)中の表記(多くはヘボン式)がヒットすることがあります。  
ただし、書誌注記に記載のタイトル(漢字、ローマ字)はヒットしないため漏れが多くなります。  
そのため、最初に原著者名から検索することをおすすめします。

※ローマ字入力の注意点  
おおむねヘボン式表記ですが、訓令式表記の場合もあります。  
単語ごとに区切って検索してください。  
例) ○Noruwei no mori ×Noruweinomori

図8 調べ方案内「日本文学の翻訳を調べる」  
([http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-101113.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101113.php))

「当館所蔵資料を調べるには」では、NDL-OPACによる検索方法の説明と、複数の検索方法や、より良い検索結果を得るための注意点などを解説している。

- ・原著者名から

漢字形では1986年以降受入れの資料しかヒットしないため、ローマ字形で「murasaki shikibu」で検索。

→源氏物語以外の著書もヒットするため、検索結果から個別に判断する。

個々の検索結果を開き、「本文の言語コード」を確認する。

- ・原タイトルから

漢字ではヒットしないため、ローマ字で検索する。書誌注記に記載のタイトル（漢字、ローマ字）はヒットせず漏れが多くなるため、原著者名からの検索を先に行う方が良い。また、研究書なども検索結果に含まれるため、検索結果の著者名などから個別に判断する。

- ・分類から

国立国会図書館分類表（NDLC）では「KG58」（源氏物語 テキスト・注釈）という分類があるため、同著者の著作である紫式部日記のテキストや源氏物語の研究書を除いた検索が可能。

このほか、「当館所蔵以外の翻訳図書を探す」の項で紹介されている国際交流基金のデータベース「日本文学翻訳書誌検索」では、原題、著者名とも漢字形、ローマ字形の両方で検索が可能である。当館で所蔵していない資料も含むデータがヒットし、検索結果の一覧画面で翻訳された言語を確認することができる。

#### 例4：一休（一休宗純）の肖像画を探したい

調べ方案内「肖像（日本人）」の「肖像が掲載されている資料を探すツール」（図9）を参考に、当館作成のデータベースで検索してみる。

##### 肖像が掲載されている資料をさがすツール

- **NDL-OPAC**   
タイトルや件名に人名を入れて検索し、「書誌一覧表示」から特定の資料を選択して、「書誌詳細表示」にすると、注記に「肖像」「肖像あり」のデータを確認できるものがあります。件名「肖像」「肖像画」「日本人-肖像」などから、肖像を多く収録した資料の検索が可能です。
- **日本人名情報索引(人文分野)データベース**  
「キーワードでさがす」に人物名を入力し、オプションを「肖像あり」にして検索できるほか、「以下の条件で絞り込む」の「分類：一般」で「肖像」を選択すると、カラーや比較的大判の肖像を収録した資料の検索が可能です。
- **近現代日本政治関係人物文献目録**   
トップ画面>人物名五十音順から、検索ボタンをクリックして、検索画面に入ります。「人物名(漢字・カナ)」に調べたい人物名を入力、その下の「任意の項目」に「肖像」と入力して検索すると、肖像を掲載している資料を調べることができます。
- **東京大学史料編纂所データベース**  
<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/>   
「肖像情報データベース」で肖像を載せている資料を調べられます。

#### 図9 調べ方案内「肖像（日本人）」

([http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-101102.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101102.php))

- ・「日本人名情報索引（人文分野）データベース」  
肖像の掲載されている資料は、「キーワードでさがす」のオプション「肖像あり」で検索できるほか、カラーの肖像や比較的大判の肖像を掲載する資料には「肖像」の分類が付与されているため、分類を使って検索する（図10）。

**キーワードでさがす**

資料名、内容紹介文中のキーワードなどで、より広い範囲の資料を検索できます。⇒[検索方法](#)

**オプション**

\*検索に時間がかかる場合は、以下の絞込み条件を選択してください。  
 \*下の分類名のリンクをたどって一覧から探すこともできます。(リンクをクリックすると分類ごとの年代一覧に切り替わります。)⇒[分類の詳細](#)

**以下の条件で絞り込む** (複数選択不可。上のクリアボタンで解除できます。)

**収録年代**

古代  中世  近世  幕末  近代  昭和前期  現代

**分類：一般**

<input type="radio"/> <a href="#">集合書誌</a>	<input type="radio"/> <a href="#">人名辞典</a>	<input type="radio"/> <a href="#">人名録</a>	<input type="radio"/> <a href="#">一般(その他)</a>
<input type="radio"/> <a href="#">逸話</a>	<input type="radio"/> <a href="#">女性</a>	<input checked="" type="radio"/> <a href="#">肖像</a>	<input type="radio"/> <a href="#">忌辰録・物故者</a>
<input type="radio"/> <a href="#">花押・落款</a>	<input type="radio"/> <a href="#">別名・宛字</a>	<input type="radio"/> <a href="#">宋典・顕彰・受賞</a>	<input type="radio"/> <a href="#">姓氏・系譜</a>

図10 日本人名情報索引（人文分野）データベース  
 (<http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/>)

キーワードに「一休」と入力し、「分類：一般」から「肖像」を選択して検索。→3件の資料に一休（一休宗純）が掲載されていることがわかる。

- ・東京大学史料編纂所「肖像情報データベース」  
 「一休」で検索すると、上記とは異なる肖像掲載資料がわかる。

## 5. おわりに

「調べ案内」、「日本人名情報索引（人文分野）データベース」のいずれも今後さらに提供するコンテンツ及びデータが充実する予定であるが、複雑な条件での検索や、人名DBの検索画面で検索した場合の検索速度などは、今後のリサーチ・ナビ全体のシステム改善課題である<sup>7)</sup>。使い勝手の面で改善すべき点は多々あると思われるが、まずは是非お使いいただき、ご意見やご感想などをお寄せいただければ幸いです。

(かない ゆき さわい ゆうこ 主題情報部人文課)

### 注

- 1) 馬場万夫 [他]『日本人名情報索引 改訂増補版』（研修教材シリーズ no.7）国立国会図書館，1990. 3. 【当館請求記号GB1-E19】
- 2) 冊子版から引き継がなかった分野について、詳しくは人名DB「このデータベースについて」を参照。（<http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/entry/post.php>）
- 3) 被伝者情報を採録している分類の詳細は、人名DB「このデータベースについて>分類一覧」を参照のこと。（[http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/entry/post.php#\\_分野一覧](http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/entry/post.php#_分野一覧)）
- 4) [http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-101121.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101121.php)
- 5) ここでの検索は画面に表示されるままの形が対象となるため、人名を検索する場合は、「人名でさがす」とは異なり、表示の揺れを考慮して姓名をスペースで区切った形と区切らない形の両方で検索する必要がある。
- 6) 平成22年1月現在、この画面で収録年代・分類を複数指定することはできない。
- 7) 本稿は平成22年1月時点の提供コンテンツをもとに執筆した。今後、システム改修を行い、詳細検索の画面を設ける予定である。最新状況はリサーチ・ナビ上でご確認ください。